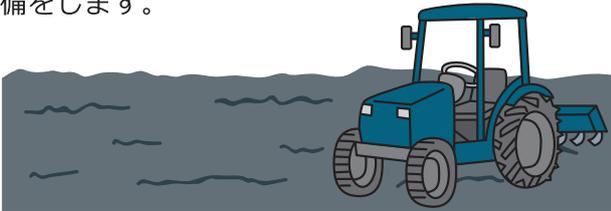


今年度、4人の地域おこし協力隊が新たに  
 着任しました！  
 着任した協力隊員をご紹介します！

☆ 地域おこし協力隊プロフィール ☆

〈農業部門〉

町内の農家で畜産や果樹等の研修を受け、実践的な農業技術を身につけ、活動期間中に就農の準備をします。



**染矢 喜夫**  
 (そめや よしお)

前住所：茨城県水戸市  
 好きなこと：スポーツ全般  
 意気込み：ナシの栽培技術を習得できるように頑張ります。

**近藤 修**  
 (こんどう しゅう)

前住所：埼玉県入間市  
 好きなこと：牛の世話  
 意気込み：多くのことを吸収し、一人前になれるように頑張ります。

**近藤 友香**  
 (こんどう ゆか)

前住所：埼玉県入間市  
 好きなこと：読書  
 意気込み：一人前を目指して、頑張ります。

〈有害鳥獣部門〉

イノシシをはじめとする有害鳥獣の捕獲を行い、肉や革を活用した製品の商品化を目指します。

**田村 芽子** (たむら めいこ)

前住所：千葉県松戸市  
 好きなこと：古道具、作家物鑑賞  
 意気込み：イノシシを自然の恵みとして活用し、商品化していきたいです。



▲町民ホールにて、イノシシに対する町の取り組みを展示しています(6月11日まで)

はじめまして。4月に農業政策課の地域おこし協力隊に着任しました、田村芽子です。

私の主な活動は、有害鳥獣の捕獲や、イノシシの肉や革の活用です。

現在、全国的にイノシシ等の有害動物が増えていきます。捕獲された有害動物は、猟師の方が自家消費する以外は、多くがごみ処理場等で処分されているのが現状です。

動物の生命を奪って処分することは、生命や資源に対して粗末であり、もったいなく思います。

捕獲された有害動物を無駄にせず、地域の資源として活かしたいと思い、城里町の地域おこし協力隊に応募しました。

最初の仕事として、町民ホールでイノシシに対する町の取り組みを展示しています。多くの方にご来場いただき、展示している革製品への問い合わせや励ましの声をいただきました。有害動物の活用を、多くの方が期待していると感じました。

野生動物の商品化には、衛生管理などの超えるべきハードルがたくさんあり、皆さんのもとへお届けするにはもうしばらく時間がかかります。商品化するその日までアイデアを出し、さまざまな企画を進めていきたいと思っています。

町民の皆さんの期待に応えられるよう、一生懸命頑張ります！

問合せ 農業政策課  
 ☎029-288-3111(内線251)